

# 放射36号線沿道周辺

平成27年2月発行

まちづくりニュース  
第5号

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課

## まちづくり

### 放射36号線沿道周辺地区の まちづくりについて意見交換しています

練馬区は、東京都が施行している都市計画道路放射第36号線（環七～早宮二丁目間）の整備にあわせて、沿道周辺地区の皆さまとともに、まちづくりに取り組んでいます。

今年度は、10町会・自治会と4商店会の関係者の方々からなる「放射36号線沿道周辺地区まちづくり検討準備会」を開催し、まちづくりの検討の準備段階として、様々な意見交換を行いました。

#### ■ 放射36号線沿道周辺図 ■



#### ■ 検討準備会の内容 ■

- 1 地区の課題抽出
- 2 まちづくりに関する研究・協議  
・他地区の事例紹介  
・将来の街並みイメージ
- 3 まちづくりの進め方や検討区域の確認

検討準備会の様子 ⇒



#### お問い合わせ

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課 担当：藤田・塚田・加藤  
【電話】03-5984-1594（直通） 【FAX】03-5984-1226  
【E-mail】TOUBU@city.nerima.tokyo.jp

## ■ 検討準備会での意見交換等の概要 ■

平成 26 年 11 月と平成 27 年 1 月に開催された検討準備会での主なご意見をご紹介します。  
検討準備会では、今後の検討組織の設立に向けた準備を行っています。  
具体的なまちづくりについては、今後設立を予定している検討組織で協議していきます。

### 【まちづくりの方向性について】

- 今後は、人口が減少し、高齢化が進むことが考えられる。拡大型のまちづくりではなく、コンパクトで住みよいまちへ誘導していくことが、これからの新しい方向性だと思う。
- 放射 36 号線が完成する頃には、様々な技術革新が進む可能性がある。まちづくりにおいても、未来を予測した上で、望ましいまちのイメージを創りながら検討していく必要がある。
- 放射 36 号線がまちの中心を通ることになるため、まちの一体感を高めるような仕組みを考えられるとよい。また、道路整備による環境の変化を少なくするための努力を、地域で行う必要がある。

### 【緑化の推進について】

- 緑豊かなまちづくりを目指すのはよいことだと思う。ただ一方で、街路樹の落ち葉の清掃等がまちの課題となっている。落ち葉を地域で清掃し、管理する仕組みも一緒に考える必要がある。

### 【用途地域について】

(ご質問) 放射 36 号線が整備されても、用途地域等は変わらないのか。

(回 答) 用途地域等の変更にあたっては、原則として、地区計画という建替え等のルールを定めた都市計画の決定が必要です。今後、地区計画の検討を行う際に、地区の皆さまのご意見やまちの特性を踏まえながら、用途地域の変更の必要性について検討していきます。



## ■ 今後の進め方 ■

今後も、地区の皆さまへの情報提供や意見交換を重ねながら、放射 36 号線整備の進捗にあわせて、段階的にまちづくりの検討を進めていきます。

